2025年６月期　決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年８月14日

上場会社名　　株式会社エアークローゼット　　上場取引所　東
コード番号　　9557　　ＵＲＬ　https://corp.air-closet.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長兼ＣＥＯ　　（氏名）天沼　聰
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　社長室長　　（氏名）森本　奈央人　　ＴＥＬ　03-6452-8654

定時株主総会開催予定日　2025年９月26日　　配当支払開始予定日　－
有価証券報告書提出予定日　2025年９月22日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2025年６月期の業績（2024年７月１日～2025年６月30日）

（１）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年６月期	4,957	17.6	102	－	88	－	23	－
2024年６月期	4,216	12.7	△35	－	△52	－	△53	－

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年６月期	2.86	2.85	4.5	3.2	2.1
2024年６月期	△6.48	－	△10.0	△2.0	△0.8

（参考）持分法投資損益　2025年６月期　－百万円　2024年６月期　－百万円

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年６月期	2,752	554	19.6	65.33
2024年６月期	2,710	510	18.6	61.60

（参考）自己資本　2025年６月期　540百万円　2024年６月期　505百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年６月期	1,060	△1,389	△32	1,092
2024年６月期	802	△778	178	1,454

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向	純資産配当率
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年６月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2025年６月期	－	0.00	－	0.00	0.00	－	－	－
2026年６月期（予想）	－	0.00	－	0.00	0.00		－	

３．2026年６月期の業績予想（2025年７月１日～2026年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,716	15.3	81	△20.9	46	△47.1	42	79.3	5.10

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：有
④　修正再表示　：無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年６月期	8,276,200株	2024年６月期	8,199,400株
②　期末自己株式数	2025年６月期	―株	2024年６月期	―株
③　期中平均株式数	2025年６月期	8,218,512株	2024年６月期	8,198,836株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年８月14日（木）に決算説明会の開催を予定しており、当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 3
３．財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）貸借対照表 …… 4
（２）損益計算書 …… 6
（３）株主資本等変動計算書 …… 7
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（会計上の見積りの変更に関する注記） …… 10
（持分法損益等の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
（１株当たり情報の注記） …… 10
（重要な後発事象の注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当社は、「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに掲げ、人々のライフスタイルが豊かになるサービスの提供を行っております。パーソナルスタイリングの要素を強みとした主軸の月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」に加え、家具・家電を購入前にレンタルできるメーカー様公認の月額制レンタルモール「airCloset Mall」を展開しております。これらのサービス展開においてはモノの出荷だけではなく、返却対応やメンテナンスといったオペレーションが重要となるため、当社はこれまで循環型の物流プラットフォームの改善、磨きこみを継続してまいりました。

2023年10月には当該物流プラットフォームを活用した都度課金型の新しい取り組みである「Disney FASHION CLOSET」を、2024年11月には同様に都度課金型で結婚式やイベントで着用するドレスをレンタルできる「airCloset Dress」をスタートしており、認知拡大に努めています。

また、循環型物流プラットフォームを、自社利用だけでなく、他の企業様にご活用頂く事業も推進しており、レンタルサービスにおける受託が２件、店頭試着等でわずかに汚れや傷が付いた傷物商品等の再商品化業務を２件受託しております。今後も継続して企業様向けの取り組みについても推進してまいります。

上記に加えて、当社はサステナビリティの観点から転換が求められるファッション業界において、サーキュラーエコノミーを実現する企業としても事業推進を行っております。2022年には自社サービス内における衣服の廃棄ゼロを実現しています。また、アパレル販売員向け衣服シェアリングの取り組みの本格始動や、レンタル提供を終了した洋服を販売するサステナブルな販売会「エコセール」を企業連携企画に拡大するなどの動きを行っております。

当事業年度においては、賃上げの定着等により個人消費に一定の回復がみられた一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

このような状況の中、主力であるairClosetサービスにおいては、前期から続く継続率の改善等により、安定した会員数の伸びを実現しており、顧客単価についても価格改定等により上昇いたしました。また、ベトナムにおけるシステム開発子会社の稼働開始など、成長加速に向けた投資を行いながらも、収益性の改善を継続しており、前事業年度のairCloset事業の営業利益の黒字化に続き、全社として初めての当期純利益の黒字化を達成いたしました。

これらの結果、当事業年度の業績は、売上高4,957,589千円（前年度比17.6％増）、調整後EBITDA（営業利益＋レンタル用資産償却費＋減価償却費＋レンタル用資産売却等に伴う原価振替額）1,028,651千円（前年度比34.8％増）、営業利益102,423千円（前年度は35,627千円の営業損失）、経常利益88,599千円（前年度は52,663千円の経常損失）、当期純利益23,541千円（前年度は53,195千円の当期純損失）となりました。

なお、当社の事業セグメントはパーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における流動資産は1,566,946千円となり、前事業年度末に比べ343,316千円減少しました。これは主に、設備投資の実施に伴う現金及び預金の減少361,903千円によるものであります。固定資産は1,186,049千円となり、前事業年度末に比べ385,825千円増加しました。これは主に、年間を通じての月額会員数の増加に応じて、必要在庫数が増加したことに伴いレンタル用資産が229,237千円増加したことに加え、新倉庫の稼働開始により建物が152,218千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,752,996千円となり、前事業年度末に比べ42,508千円増加しました。

（負債）

当事業年度末における流動負債は1,617,852千円となり、前事業年度末に比べ404,305千円増加しました。これは主に、短期借入金の増加155,177千円及び一年内返済予定の長期借入金の増加200,000千円によるものであります。固定負債は580,704千円となり、前事業年度末に比べ406,076千円減少しました。これは主に、長期借入金を一年内返済予定の長期借入金に振り替えたことによる減少400,000千円であります。

この結果、負債合計は2,198,557千円となり、前事業年度末に比べ1,770千円減少しました。

（純資産）

当事業年度末における純資産は554,438千円となり、前事業年度末に比べ44,278千円増加しました。これは主に、当期純利益計上による利益剰余金の増加23,541千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は19.6%となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,092,622千円となり、前事業年度末に比べ361,903千円減少しました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,060,627千円（前年度は802,950千円の獲得）となりました。これは主に、減少要因として、未払又は未収消費税等の減少額36,265千円（前年度は22,732千円の増加額）等があった一方で、増加要因として、税引前当期純利益24,168千円（前年度は52,663千円の税引前当期純損失）、減価償却費562,532千円（前年度は572,502千円の減価償却費）、レンタル用資産売却等に伴う原価振替額362,700千円（前年度は226,052千円のレンタル用資産売却等に伴う原価振替額）、前受金の増加額50,492千円（前年度は6,205千円の前受金の増加額）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は1,389,766千円（前年度は778,282千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,333,011千円（前年度は911,586千円の支出）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は32,764千円（前年度は178,060千円の獲得）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額155,177千円（前年度は192,366千円の純増加額）があった一方で、長期借入金の返済による支出200,000千円（前年度は214,683千円の支出）があったことによるものであります。

（４）今後の見通し

世の中では賃上げの定着等により個人消費に回復の傾向が見られる一方、世界における情勢不安、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。

また、ファッション市場においては気候変動の影響により夏が長期化し、春や秋が短くなるといった変化への対応が求められています。

このような状況の中当社は、継続的な会員増加、ファンとなるサブスクリプション会員の定着等により2025年６月期に全社として初となる当期純利益の黒字化を達成いたしました。事業モデルとしての収益性については一定の証明が図れたものの、成長角度を高め、早期の売上高100億円を達成すべく、2026年６月期においては新規顧客の獲得手段において広告への集中から脱却し、コラボレーション強化やオフライン接点の強化など、新規会員獲得手段の多様化を行ってまいります。また、オケージョンシーン向けサービスの拡大、メンズ向けサービス開始に向けた準備を行うなど、新規領域への投資も積極化してまいります。

売上高、売上総利益はairCloset事業における会員数増加に伴う増加、airCloset Mall事業の規模拡大による増加を見込んでおります。

販売費及び一般管理費については、事業規模の拡大に加え、上述の新規投資による増加を見込んでおります。また、倉庫の拡張移転による一時費用31百万円を計画しております。

以上から、当社の2026年６月期の業績予想は、売上高5,716,156千円（前期比15.3%増）、営業利益81,020千円（前期比20.9%減）、経常利益46,905千円（前期比47.0%減）、当期純利益42,215千円（前期比79.3%増）を見込んでおります。

なお、当該業績予想は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の国際会計基準の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2024年６月30日）	当事業年度 （2025年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,526	1,092,622
売掛金	365,462	365,246
商品	17,785	18,344
貯蔵品	13,046	6,539
前払費用	39,255	48,134
その他	25,162	45,954
貸倒引当金	△4,975	△9,895
流動資産合計	1,910,263	1,566,946
固定資産		
有形固定資産		
レンタル用資産（純額）	542,030	771,268
建物（純額）	－	152,218
機械装置（純額）	57,651	84,724
工具、器具及び備品（純額）	8,185	10,113
その他（純額）	4,344	－
有形固定資産合計	612,212	1,018,324
無形固定資産		
ソフトウエア	766	191
無形固定資産合計	766	191
投資その他の資産		
関係会社株式	－	58,533
敷金	157,245	142,430
その他	30,000	31,000
貸倒引当金	－	△64,430
投資その他の資産合計	187,245	167,533
固定資産合計	800,224	1,186,049
資産合計	2,710,487	2,752,996

（単位：千円）

	前事業年度 （2024年６月30日）	当事業年度 （2025年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,367	164,775
短期借入金	417,322	572,500
１年内返済予定の長期借入金	200,000	400,000
未払金	148,216	181,884
未払費用	22,486	9,074
未払法人税等	530	530
前受金	190,433	240,925
預り金	31,894	25,380
契約負債	20,111	12,864
その他	46,183	9,918
流動負債合計	1,213,546	1,617,852
固定負債		
長期借入金	960,000	560,000
資産除去債務	20,704	20,704
その他	6,076	－
固定負債合計	986,781	580,704
負債合計	2,200,327	2,198,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,251	56,280
資本剰余金		
資本準備金	862,232	868,261
資本剰余金合計	862,232	868,261
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△407,387	△383,845
利益剰余金合計	△407,387	△383,845
株主資本合計	505,096	540,695
新株予約権	5,063	13,743
純資産合計	510,159	554,438
負債純資産合計	2,710,487	2,752,996

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2023年７月１日 至 2024年６月30日）	当事業年度 （自 2024年７月１日 至 2025年６月30日）
売上高	4,216,157	4,957,589
売上原価	2,217,633	2,579,427
売上総利益	1,998,524	2,378,162
販売費及び一般管理費	2,034,151	2,275,739
営業利益又は営業損失（△）	△35,627	102,423
営業外収益		
受取利息	14	636
雑収入	2,040	2,752
営業外収益合計	2,054	3,388
営業外費用		
支払利息	19,090	17,212
営業外費用合計	19,090	17,212
経常利益又は経常損失（△）	△52,663	88,599
特別損失		
貸倒引当金繰入額	－	64,430
特別損失合計	－	64,430
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△52,663	24,168
法人税、住民税及び事業税	532	627
法人税等合計	532	627
当期純利益又は当期純損失（△）	△53,195	23,541

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度（自　2023年７月１日　至　2024年６月30日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	50,062	862,044	862,044	△354,191	△354,191	557,915
当期変動額						
新株の発行	188	188	188		－	376
当期純利益又は当期純損失（△）				△53,195	△53,195	△53,195
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	188	188	188	△53,195	△53,195	△52,819
当期末残高	50,251	862,232	862,232	△407,387	△407,387	505,096

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	－	557,915
当期変動額		
新株の発行		376
当期純利益又は当期純損失（△）		△53,195
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,063	5,063
当期変動額合計	5,063	△47,756
当期末残高	5,063	510,159

当事業年度（自　2024年７月１日　至　2025年６月30日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	50,251	862,232	862,232	△407,387	△407,387	505,096
当期変動額						
新株の発行	6,028	6,028	6,028			12,057
当期純利益又は当期純損失（△）				23,541	23,541	23,541
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						
当期変動額合計	6,028	6,028	6,028	23,541	23,541	35,598
当期末残高	56,280	868,261	868,261	△383,845	△383,845	540,695

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	5,063	510,159
当期変動額		
新株の発行		12,057
当期純利益又は当期純損失（△）		23,541
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	8,679	8,679
当期変動額合計	8,679	44,278
当期末残高	13,743	554,438

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2023年７月１日 至　2024年６月30日）	当事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	△52,663	24,168
減価償却費	572,502	562,532
レンタル用資産売却等に伴う原価振替額	226,052	363,696
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,409	69,351
契約負債の増減額（△は減少）	△761	△7,246
受取利息	△14	△636
支払利息	19,090	17,212
売上債権の増減額（△は増加）	△27,955	216
棚卸資産の増減額（△は増加）	△13,980	5,947
仕入債務の増減額（△は減少）	12,411	18,314
未払又は未収消費税等の増減額	22,732	△36,265
未払金の増減額（△は減少）	8,185	33,667
前受金の増減額（△は減少）	6,205	50,492
その他	49,342	△23,619
小計	822,559	1,077,831
利息の受取額	14	636
利息の支払額	△19,090	△17,212
法人税等の支払額	△532	△627
営業活動によるキャッシュ・フロー	802,950	1,060,627
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	－
有形固定資産の取得による支出	△911,586	△1,334,007
関係会社株式の取得による支出	－	△58,533
敷金及び保証金の差入による支出	△69,230	△1,000
敷金及び保証金の回収による収入	2,534	9,851
長期預り金の返還による支出	－	△6,076
投資活動によるキャッシュ・フロー	△778,282	△1,389,766
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	376	12,057
短期借入金の純増減額（△は減少）	192,366	155,177
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△214,683	△200,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	178,060	△32,764
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	202,728	△361,903
現金及び現金同等物の期首残高	1,251,797	1,454,526
現金及び現金同等物の期末残高	1,454,526	1,092,622

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

（耐用年数の変更）

当社が保有するレンタル用資産は、従来、耐用年数を18ヵ月として減価償却を行ってきましたが、レンタル用資産の利用期間実績が伸長していることを踏まえ、当事業年度の期首より、耐用年数を24ヵ月に見直し、将来にわたり変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益はそれぞれ112,068千円増加しております。

（持分法損益等の注記）

当社が有している関連会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

（セグメント情報等の注記）

当社は、パーソナルスタイリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（１株当たり情報の注記）

	前事業年度 （自　2023年７月１日 至　2024年６月30日）	当事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）
１株当たり純資産額	61円60銭	65円33銭
１株当たり当期純利益または当期純損失（△）	△6円48銭	2円86銭
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	―	2円85銭

（注）１．前事業年度の潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

２．１株当たり当期純利益または当期純損失及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自　2023年７月１日 至　2024年６月30日）	当事業年度 （自　2024年７月１日 至　2025年６月30日）
１株当たり当期純利益または当期純損失（△）		
当期純利益または当期純損失（△）（千円）	△53,195	23,541
普通株主に帰属しない金額（千円）	―	―
普通株式に係る当期純利益または当期純損失（△）（千円）	△53,195	23,541
普通株式の期中平均株式数（株）	8,198,836	8,218,512
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	―	―
普通株式増加数（株）	―	40,848
（うち新株予約権）（株）	（―）	（40,848）
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	―

（重要な後発事象の注記）

資金の借入

当社は、2025年7月14日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議し、以下の通り実行いたしました。

１．借入の目的

今後の事業展開を見据え、資金を確保することで財政基盤の一層の安定化を図ることを目的としております。

２．借入の概要

（１）借入先	株式会社日本政策金融公庫
（２）借入金額	340,000千円
（３）借入実行日	2025年8月（予定）
（４）借入期間	2025年8月～2030年8月（予定）
（５）利率	固定金利（予定）
（６）返済方法	期日一括返済
（７）担保等の有無	無